

## 兵庫県のウスベリケンモン亜科とケンモン亜科

兵庫県産蛾類分布資料・9

高島 昭

はじめに

蛾の同定には立派な図鑑が刊行され、大変便利になった。一方、これまで県下の蛾の記録をまとめたものとしては、1975年頃遠山雅夫氏らの手による、その当時の文献記録をもとにした兵庫県のシャチホコガ、スズメガについての目録が唯一ではないかと思われる。これも「淡路島を除く」となっており、蛾の仲間全体を全地域的に体系的にまとめたものはないといっている。そのため、採集しても記録の整理には不便をとまなう。チョウやトンボなどに比べて蛾が敬遠されがちなのは、分布像がはっきりわからないことによるところが大きいと思われる。

そこで筆者は二年前から、兵庫県の蛾相解明の一助にと、過去に発表された蛾の採集記録を参照できるデータベースづくりに取りかかり、多くの方の御支援、御援助を得ながらこれまで文献に発表された県下の蛾の採集記録を中心に一部未発表記録も含めた目録を作成中である。この目録は膨大なもので、小蛾類などはデータや参考資料も少なく、まだまだまとめる段階には至っていないが、ヤガ科やシャチホコガ科などをはじめ、大蛾類についてはかなり資料も充実してきたので、ある程度データの整理ができたものから順次連載の形で報告していきたい。

今回はヤガ科のウスベリケンモン亜科、ケンモン亜科について報告する。この仲間の蛾は比較的地味で話題にのぼらないものが多いが、分布上注目すべき種が少なくない。深山にひっそりと生息する種も多いが、データをご覧になってわかるとおり、蝶などと比べて蛾の採集データは少なく、分布状況が把握できるほど記録の集積ができていないのが実情である。たとえ普通種であっても、未発表記録や新産地は積極的に発表してほしい。

また、ここには文献に基づく記録と未発表データを掲載したが、まだまだ多くの漏れ落ち等があると思われるので、御教示願えれば幸いである。

本稿を草するにあたり、次の方々に貴重な文献の御紹介、御恵与、採集記録の提供等を賜った。御芳名を記してお礼申し上げる(五十音順、敬称

は略させていただきます)。

相坂耕作、岡本 清、近藤伸一、柴田 剛、  
高橋寿郎、中西明德、広畑政巳、山本義丸

<地域区分について>

兵庫県は北は日本海側から南は淡路島まで、また標高も最高は1,510mの氷ノ山と、その自然環境はたいへん変化に富んでおり、植生も場所によって大きく異なる。同様に蛾相も地域によって大きく異なると思われる。そこで、摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の5つの地域区分をベースに、摂津地域は六甲山系を有する神戸地区と、北摂山系を背後に控え南部は猪名川、武庫川のデルタが発達した阪神・北摂地域に、面積的に広大な播磨地域は、中国縦貫道を境に急峻な山地地形となる北部と平坦な南部に分け、さらに平野及び台地が発達した中東播と沈降型地形で沿岸部まで丘陵地帯が迫る西播に分けた。但馬地域は南北に二分割し、淡路地区も瀬戸内海型気候の北部と黒潮の影響を受けていると思われる南部に細分化した。本文中の地域区分の名称と範囲は次のとおり。

神戸：神戸市域

阪神・北摂：尼崎、西宮、芦屋、伊丹、宝塚、川西、三田各市と猪名川町

中東播南部：姫路市、飾磨郡、神崎郡以東、中国縦貫道以南の播磨地域

中東播北部：飾磨郡、神崎郡以東、中国縦貫道以北の播磨地域

西播南部：揖保郡、龍野市、宍粟郡以西、中国縦貫道以南の播磨地域

西播北部：中国縦貫道以北の宍粟郡及び佐用郡

南 但：朝来郡、養父郡の各町

北 但：豊岡市、出石郡、城崎郡、美方郡の各町

丹 波：多紀郡、水上郡の各町

淡路北部：津名郡の各町

淡路南部：洲本市及び三原郡の各町

<本文の構成>

単なる採集記録の羅列でなく各種ごとに次の項目について解説した。

1. 全国での分布の概要、産出の特徴
2. 判明している食樹・食草等
3. 県下の分布の概要(注目種であればその旨の記述と分布状況の解説)

※注目種について：県内の分布状況やこれまでの記録等から見て、個体数が少ないもの、産地が局限されているもの、分布の限界域にあるもの、全国的に稀種とされているものなどを注目種として表示した。ただしこの分類はあくまでも筆者の主観であることをお断りしておく。

4. 県下の記録(市町ごとにこれまで文献等に記載されたもの、筆者が採集・確認したもの、及び未発表データの提供を頂いたものを列記)

なお、筆者はすべての標本を検したわけではないので、誤同定、誤記載等の疑いのある場合もそのまま掲載していることをお断りしておく。

なお、紙面の制約から各種毎に分布図を付けられないので、記録地の一覧図を図1に示した。

5. 現在記録が見られないが、将来調査が進めば発見される可能性のある種について各(亜)科の最後に一括解説する。

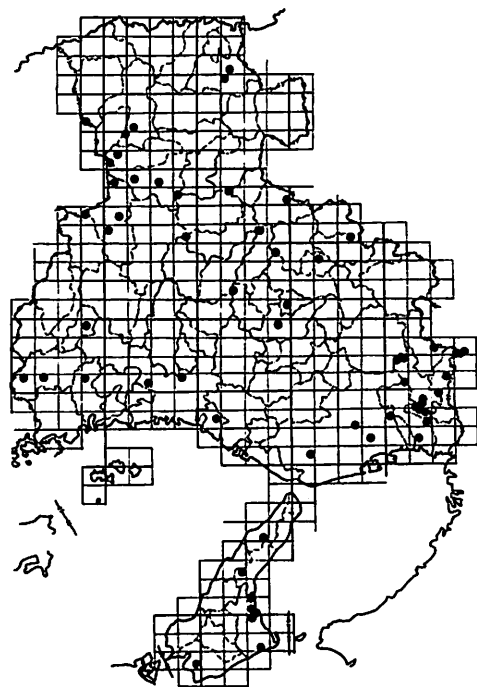


図1 ウスベリケンモン亜科・ケンモン亜科の採集記録地一覧

6. 参考・引用文献は、最後に一括掲載する。

#### <凡 例>

データの記載方法は市町毎に表示し、次の順序とした。また、以下1)~11)に示す基準に基づいて掲載している。

市町名(採集地名, 日, 月, 年, 頭数・性別, 採集者名, 文献記録の場合は文献番号)

文献記録は原則として原記載のとおりとしているが, 3), 4), 6), 7)等に該当する場合はデータの加工を行っており, 必ずしも原記載に忠実なものとはなっていないことをお断りしておく。

- 1) 市町名の配列は原則として行政順としたが、一部前後するところもある。
- 2) 採集地名は原則として文献での記述に従ったので、同一箇所で採集されたと思われるデータでも複数の表現が存在したり、地名の範囲の大きさにばらつきが生じる場合がある(例：南淡町阿万と南淡町阿万上町など)。
- 3) 地名は国土地理院発行の50,000分の1の地形図に準拠したため、一部に文献での地名と異なる表記のものがある。例えば、姫路市「広峰山」は「広嶺山」とする。ただし、「広峰神社」の場合は「峰」の字を当てる。また、文献の中には採集地に固有名詞を挙げているものも多いが、原則としてそれが位置する地名(集落名)に統一した(波賀町引原ダム→波賀町引原, 関西学院大学千刈キャンプ場→三田市香下, 西脇高校黒田庄分校→黒田庄町喜多など)。ただし、広い範囲をさす固有名詞(例；六甲山, 有馬温泉など)の場合はそのまま表記した。
- 4) 文献上の採集地名が市町名を特定できない場合や、市町村名、旧村名(地域名)のみの表示したものについてはそのまま記述した(例：氷ノ山, 氷上郡など)。ただし、市町名が表されていない場合でも、特定することが可能な場合は表示している(例；摩耶山→神戸市摩耶山, 先山→洲本市先山など)。なお、町村合併等で行政区分が変更している場合等は現在の表記に合わせている(例；久崎村→上月町など)。神戸市の場合はさし支えないと思われる場合は「区」名表示を省略した。
- 5) 府県境での記録については、他府県のものであることが判別できるものについては省き、どちらかわからないものについては掲載した。

- 6) 文献によるデータのうち、採集地名、採集日、頭数、性別が不明のものは「-」で表示した。ただし、原記載に具体的なデータが表示されていなくても文献中の解説文等からデータが判断できるものは記載している。
- 7) データに採集者名が記載されていない場合の取り扱いについては、文献の発表者が採集したと判断できる場合はその発表者を、文献の発表者が複数の場合には「〇〇(代表者名)ほか」とし、文献の発表者以外の採集であっても採集者が客観的に特定できる場合は同様の処置を行った。採集者が全く不明な場合は「-」で表示した。
- 8) 文献は通し番号とし巻末に一括表示した。この番号は便宜上付けたものであり、概ね文献の発表年順に並べたが一部で順不同のものもある。
- 9) 本記録集は現時点での生のデータの集大成という性格を持つので、同一地点での採集記録でもできるだけ多く記載した。その場合採集地名は重複を避けて「同」という表現にした。また、同一文献に記載された同一地域、同一採集者による記録については、「;」で区切り、採集地名は一連のデータの最初に、採集者名と文献番号は最後に表示した。
- 10) 文献番号がないものは未発表データである。
- 11) 一度発表されたデータが修正、訂正されたものについては、最新のものを掲載し、訂正等の経緯についても可能な範囲で記述した。ただし、再発表や補足があったものについても、従来のもとの変更がないデータは最初の文献を拠としている。

ウスベリケンモン亜科 (PANTHEINAE)

ヤガ科の中では小さな亜科で、後翅のM<sub>2</sub>が発達し、複眼上に毛を密生することがこの亜科の特徴となっている。日本には13種が確認されているが、兵庫県にはそのうち7種が記録されている。このうち、マルバネキシタケンモン、ナマリケンモン、カラフトゴマケンモンの3種は記録が少なく注目種である。なお、ウスベリケンモン亜科の各種の県内における分布状況を第1表に示した。

1. *Trisuloides rotundipennis* Sugi

マルバネキシタケンモン 注目種

1976年にホリシャキシタケンモンから分離され

た。同種と類似するが、前翅の翅型はより丸みをもち、翅頂部は突出しない。古い記録は混同されている可能性があるので注意を要する。伊豆半島以西の本州南西部、四国、九州に産する。今のところ日本特産種で幼生期は不明である。年2回の発生が認められている。県内では1954年に柏原町で1頭採集されているだけで、他の記録は見当たらない。これは最初ホリシャキシタケンモンとして記録された(山本,1958)ものであるが、本種に該当すると再報告されたものである。淡路や瀬戸内海沿岸地域などでは注意が必要かと思われる。

[採集記録]

柏原町(柏原,7.VII.1954,1♀,山本義丸<sup>4)</sup>)

2. *Anacronicta nitida* (Butler)

ウスベリケンモン

北海道から九州に至る本土域に普通に見られる。年2回の発生で、クマザサの類から幼虫が発見されているが、詳しい食性は不明である。県下からは各地で記録されており、普通種である。南但からは記録がないが生息していると思われる。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-.-.-,-,田中蕃<sup>7)</sup>: 同,-.-.-,-,岡村八郎<sup>34)</sup>)

宝塚市(西谷西部,18.VI.1977,1♂; 23.VI.1979,1♂; 13.IX.1986,1♂,東正雄<sup>3)</sup>)

川西市(平野,3.VII.1992,1♂,東良雄<sup>39)</sup>)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂; 20.VIII.1982,5♂; 1.IX.1982,1♂,夏秋ほか<sup>22)</sup>)

黒田庄町(喜多,4.V.1959,1ex.; 21.V.1959,1ex.; 24.V.1960,1ex.; 9.VI.1960,1ex.,岡本清<sup>49)</sup>)

姫路市(広嶺山,-.-.1982,-,木村三郎<sup>27)</sup>)

波賀町(引原,22.VI.1974,1♂; 13.VII.1974,1♂,遊磨正秀<sup>11)</sup>: 同,25.VIII.1987,3exs.; 5.IX.1987,2exs.,高島昭<sup>42)</sup>: 坂の谷,4.IX.1998,1♂,高島昭)

三日月町(下本郷,-.IX.-,-,川副昭人<sup>33)</sup>)

豊岡市(正法寺,22.V.1998,1♂,柴田剛)

村岡町(瀬川平,12.VIII.1989,1♀,近藤伸一)

温泉町(扇ノ山,25.V.1985,1ex.,足立義弘<sup>31)</sup>)

水上郡(-.-.-.-,山本義丸<sup>4)</sup>)

津名町(大町畑,29.VI.1972 1♀; 3.V.1972,2♀; 5.V.1972,2♀,登日邦明<sup>9)</sup>)

洲本市(宇山,12.IV.1981,1ex.,林俊雅<sup>23)</sup>)

南淡町(阿万上町,3.VI.1961,-; 4.V.1976,-,藤平明<sup>32)</sup>)

3. *Anacronicta caliginea* (Butler)

## コウスベリケンモン

前翅翅表は前種よりもはるかに黒褐色を呈し、中室端部の淡色部を除き、各横線は明瞭でない。北海道から九州に至る本土域に分布する。年2回の出現でススキを食べることが知られている。

県内からはほぼ全域にわたり平地から山地まで得られているが、前種よりは少ないようである。

## [採集記録]

宝塚市(南口2丁目, 25.V.1982, -, 新家勝<sup>26)</sup>  
 猪名川町(上阿古谷, 25.VIII.1981, 1♀; 1.IX.1982, 2♂,  
 夏秋ほか<sup>22)</sup>  
 黒田庄町(喜多, 1.V.1959, 1ex.; 12.VI.1961, 1ex., 岡  
 本清<sup>49)</sup>  
 姫路市(太市, 31.V.1995, 1♀, 高島昭)  
 波賀町(引原, 7.VI.1988, 1♂, 高島昭<sup>42)</sup>  
 三日月町(下本郷, -.VI.-, -, 川副昭人<sup>33)</sup>  
 関宮町(氷ノ山, -. -.1955, -, 山本義丸<sup>3)</sup>  
 氷上郡(-, -. -. -. -, 山本義丸<sup>4)</sup>  
 北淡町(常陸寺山, 7.VII.1972, 1♂, 登日邦明<sup>14)</sup>  
 南淡町(阿万上町, 22.IX.1973, -, 藤平明<sup>12)</sup>; 同, 8.V.  
 1976, -, 藤平明<sup>32)</sup>

4. *Anacronicta plumbea* (Butler)

## ナマリケンモン 注目種

♂の触角は両櫛葉状で *Anacronicta* ウスベリケンモン属の中では唯一の例外である。北海道から九州にかけて記録があり、山地帯では年1回の発生であるが低標高地では年2化の可能性がある。幼生期は不詳である。

県下の記録は少なく黒田庄町、生野町、柏原町、育垣町で報告されているだけである。なお、宝塚市からも本種が記録され(新家, 1982)、それが宝塚の昆虫(宝塚市教育委員会, 1993)にも引用されているが、ウスアオヨトウとの誤同定であったとのことである(本人私信)。

## [採集記録]

黒田庄町(喜多, 17.V.1960, 1ex.; 13.IX.1960, 1ex., 岡  
 本清<sup>49)</sup>  
 生野町(段ヶ峰, 6.VIII.1953, 1♂, 山本義丸<sup>46)</sup>  
 柏原町(柏原, -. -. -. -, 山本義丸<sup>43)</sup>  
 育垣町(神楽, -. -. -. -, 山本義丸<sup>43)</sup>

5. *Trichosea champa* (Moore)

## キバラケンモン

北海道から九州、対馬、屋久島にかけて分布する。変異が大きい種という認識があったが、近年ニセキバラケンモン、キタキバラケンモンという2種が分離された。本種はその中では最も暖温帯性の種である。少なくとも年2回の発生で、コゴメウツギ、ヒサカキ、シャシャンボ、タチバナモドキが食樹として知られる。大図鑑ではやや局地的との記述があるが、県下では各地に普通である。

## [採集記録]

神戸市(摩耶山, -. -. -. -, 田中蕃<sup>7)</sup>; 同, -. -. -. -, 岡  
 村八郎<sup>34)</sup>  
 宝塚市(南口2丁目, 3.X.1988, -, 新家勝<sup>38)</sup>; 武庫川  
 町, 11.XI.1978, -, 新家勝<sup>19)</sup>; 花屋敷, 28.V.1932,  
 2♀, 東正雄<sup>39)</sup>; 西谷西部, 16.VI.1990, 1♀, 東正雄<sup>39)</sup>  
 妙見山(26.VII.1983, 2♂; 5.VII.1984, 2♂; 18.VII.1984,  
 8♂3♀, 夏秋ほか<sup>28)</sup>  
 川西市(黒川, 20.IX.1997, 1♂, 高島昭<sup>50)</sup>  
 三田市(香下, 7.IX.1991, 1♂, 東正雄<sup>39)</sup>  
 黒田庄町(喜多, 12.IX.1960, 1ex., 岡本清<sup>49)</sup>  
 姫路市(広嶺山, -. -.1982, -, 木村三郎<sup>27)</sup>  
 波賀町(引原, 2.VI.1975, 1♀, 遊磨正秀<sup>11)</sup>; 同, 8.VII.  
 1981, 1♂1♀, 相坂耕作; 同, 10.IX.1988, 1ex.; 26.  
 VII.1988, 1♂, 高島昭<sup>42)</sup>  
 相生市(瓜生, 7.VII.1989, 1♀, 高島昭<sup>44)</sup>; 同, 8.IX.1997,  
 1♂, 高島昭)  
 上郡町(行頭, 23.VI.1995, 1♂, 高島昭<sup>46)</sup>  
 三日月町(下本郷, -.IX.-, -, 川副昭人<sup>33)</sup>  
 温泉町(扇ノ山, 2.VI.1984, 1♂, 谷田昌也<sup>31)</sup>; 同, 25.  
 V.1985, 2♂, 足立義弘<sup>31)</sup>  
 関宮町(氷ノ山, -. -.1955, -, 山本義丸<sup>3)</sup>  
 市島町(妙高山, -. -. -. -, 山本義丸<sup>43)</sup>  
 北淡町(常陸寺山, 7.VII.1972, 2♀, 登日邦明<sup>14)</sup>  
 洲本市(厚浜, 13.V.1975, -, 藤富正昭<sup>40)</sup>; 宇山, 8.IV.  
 1981, 1ex.; 11.IV.1981, 1ex., 林俊雅<sup>23)</sup>; 三熊山,  
 19.VII.1981, 1♀, 西岡公明<sup>25)</sup>  
 南淡町(阿万上町, 1.II.1978, -, 藤平明<sup>32)</sup>

6. *Panthea coenobita* (Esper)

## カラフトゴマケンモン 注目種

冷温帯性の種で、北海道～九州、対馬に産するが、北海道から中部山地にかけては普通に見られる。西南暖地では山地性で少ない種となる。年2回の出現でトウヒやモミなどの針葉樹を食べる。

県下からは、波賀町と市島町で記録されている

ほかは報告がない。

【採集記録】

波賀町(引原,25.VII.1988,1♂; 9.VII.1988,1♂,高島昭<sup>42)</sup>  
市島町(妙高山,9.VII.1954,-,山本義丸<sup>4)</sup>)

7. *Colocasia jezoensis* (Matsumura)

ネグロケンモン

北海道から九州にかけて分布し、西南暖地では山地性となる。年2回の発生で、ミズナラ、クヌギ、ハルニレなどが食樹として確認されている。第1化の発生は比較的早く、4月下旬から見られる。発生地での個体数は多い。県下では西播から但馬にかけての山地帯に比較的広く分布していると思われる。

【採集記録】

波賀町(引原,6.V.1974,1♂; 18.V.1974,2♂; 6.XI.1975,1♂,遊磨正秀<sup>11)</sup>; 28.IV.1988,1♂; 5.VII.1988,3♀,高島昭<sup>42)</sup>; 同,10.IV.1998,2♂,高島昭; 坂の谷,17.IV.1998,2♂,高島昭; 同,24.VII.1998,1♀,高島昭)  
温泉町(扇ノ山,2.VI.1984,3♂,谷田昌也<sup>31)</sup>  
朝来町(須留ヶ峰,31.VII.1975,1♀,遊磨正秀<sup>15)</sup>  
大屋町(田淵山,5.VIII.1975,目,遊磨正秀<sup>20)</sup>  
氷ノ山(-.-.1954,-,山本義丸<sup>36)</sup>; 同,-.-.-,-,遠山ほか<sup>13)</sup>  
関宮町(鉢伏高原,23.VII.1975,1♀,山本義丸<sup>48)</sup>)

<今後記録される可能性のある種>

1. *Colocasia umbrosa* Wileman

ヒメネグロケンモン

ヒメウスベリヤガともいう。ネグロケンモンに類似するが、複眼は裸出し、前翅翅表の横線は二重線とはならないこと、外横線は常に明瞭であることで区別できる。腎状紋は通常明瞭で中央でやや狭まり、その中に暗色条もしくは2個の暗色点を含むことが多い。宮城県付近を北限として九州までの本土域に分布し、年2回の発生で幼生期は未知。県下からは関宮町氷ノ山からの記録(山本,1955)があったがネグロケンモンの間違いであったとして訂正(山本,1989)されており、県下からは未知である。しかし、岡山県では北部山地で記録があるようで、西播から但馬にかけての山地帯で発見される可能性が高い。

ケンモン亜科 (ACRONICTINAE)

後翅のM<sub>2</sub>の発達が悪く、横脈のほぼ中央から発している。幼虫は胸腹部に2次刺毛を生じるものや、1次刺毛の大半あるいは一部に毛束を生じ、ドクガ科の幼虫に似ることが多い。しかし、幼虫が未知の群もあり、将来分類上の位置が変更されるものがあるかもしれない。幼虫はほとんどが樹木性であるが、一部草本や単子葉植物につくものがある。日本産は50種が知られ、そのうち兵庫県では29種の分布が確認されている。地域別に見ると神戸8種、阪神・北摂21種、中東播南部10種、中東播北部10種、西播南部12種、西播北部19種、南但22種、北但8種、丹波地域14種、淡路北部5種、淡路南部8種(第1表参照、1998年9月22日現在)である。このように県内では阪神・北摂の低山地、及び西播北部から南但にかけての氷ノ山周辺の山地帯に多くの種が分布している。これはこの亜科のほとんどの種が森林性であること、この地域が古くからよく調査されていることがあげられる。冷温帯性の種が多いこともこの亜科の特徴であるが、これらの種は西播から但馬にかけての山地帯に分布しており、その結果、波賀町引原ダムでは17種、氷ノ山では21種など豊富な産出となっている。能勢妙見山からも山地性の種が見出され、計17種を産する。アオケンモン、ウスマラサキケンモン、ハンノケンモンをはじめ、10種については採集記録が少なく注目種といえる。とくにネジロシマケンモンは全国的にも稀種である。

なお、マダラウスズミケンモンは大函鑑に兵庫県が産地としてあがっているが、記録の確認ができなかったため分布種に数えていない。また、過去にアサケンモンの記録があるが、シロモンケンモンとの誤認であったとのことであり、やはり分布種には扱っていない。

1. *Belciades niveola* (Motschulsky)

アオケンモン 注目種

北海道から九州にかけて山地に分布する。幼虫はシナノキを食べ、夏に成虫が現れる。

県内では永らく氷ノ山での古い記録があるだけであったが、最近筆者は波賀町でも確認している。今のところ氷ノ山山系からしか見つかっていないが、西播から但馬にかけての山地をさがせば新しい産地はみつかると思う。

第1表 兵庫県におけるウスベリケンモン亜科、ケンモン亜科の地域別分布状況一覧 (1998年9月22日現在)

	神戸	阪神北摂	中東播南部	中東播北部	西播南部	西播北部	南但	北但	丹波	淡路北部	淡路南部	記録地数	特記事項
ウスベリケンモン亜科													
1. マルバネキシタケンモン									○			1	注目種 南方系
2. ウスベリケンモン	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	16	
3. コウスベリケンモン		○	○	○	○	○	○		○	○	○	10	
4. ナマリケンモン				○			○		○			4	注目種
5. キバラケンモン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	
6. カラフトゴマケンモン						○			○			2	注目種
7. ネグロケンモン						○	○	○				7	
計	2	3	3	4	3	5	4	3	6	3	3		
ケンモン亜科													
1. アオケンモン						○	○					2	注目種 山地性
2. ゴマケンモン		○	○	○	○	○	○		○			13	
3. キクビゴマケンモン		○			○	○	○	○				6	
4. ニッコウアオケンモン		○				○	○	○	○			7	
5. スギタニアオケンモン		○		○		○	○		○			8	山地性
6. スギタニゴマケンモン						○	○	○	○			4	注目種 山地性
7. ヒメケンモン		○	○							○		5	局地的
8. シロフヒメケンモン			○		○	○	○		○			7	局地的
9. オオケンモン		○				○	○		○			10	
10. サクラケンモン		○	○	○	○		○	○	○		○	15	
11. シロハラケンモン		○	○	○			○		○		○	7	
12. シロモンケンモン	○	○			○	○			○			5	局地的
13. ウスムラサキケンモン							○					1	注目種 山地性
14. リンゴケンモン	○	○	○	○	○	○		○		○	○	11	
15. オオホソバケンモン		○				○	○					4	注目種 山地性
16. キハダケンモン		○		○					○			5	
17. ハンノケンモン						○	○					2	注目種 山地性
18. ウズミケンモン	○	○			○							3	注目種 局地的
19. キシタケンモン		○	○				○					3	注目種
20. シロシタケンモン		○			○	○	○	○			○	6	
21. ナシケンモン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	
22. クビグロケンモン	○									○	○	3	注目種
23. イボタケンモン						○	○					3	注目種 山地性
24. ニッコウケンモン		○				○	○					4	
25. シマケンモン	○	○	○	○	○				○	○	○	15	
26. ネジロシマケンモン							○					1	注目種
27. クロフケンモン	○	○		○		○	○					6	山地性 局地的
28. シロフクロケンモン		○			○	○	○		○			8	
29. アミメケンモン	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	21	
計	8	21	10	10	12	19	22	8	14	5	8		

## [採集記録]

波賀町(坂の谷,17.VII.1998,1♂,高島昭)  
 関宮町(氷ノ山,-.-.1954,-,山本義丸<sup>2)</sup>)  
 氷ノ山(-.-.-, -, 遠山ほか<sup>1,3)</sup>)

2. *Moma alpium* (Osbeck)

## ゴマケンモン

ユーラシア種でヨーロッパからアジアにかけて広く分布する。日本では北海道から九州までの本土域に産する。年2回の発生でコナラ属を食べるが、クリやシラカンパでも幼虫が発見されている。

県下では神戸、北但と淡路で記録がないほかは、各地に普通な種である。記録のない地域にも広く分布していると思われる。

## [採集記録]

宝塚市(西谷西部,28.V.1977,1♂; 2.VII.1988,1♀;  
 9.VII.1988,1♂; 20.VIII.1988,1♂; 15.VI.1991,1♀,  
 東正雄<sup>3)</sup>; 武田尾,23.VI.1987,1♂,東正雄<sup>3)</sup>)  
 川西市(黒川,10.VIII.1996,1♀; 5.VII.1997,1♀,高島昭<sup>5)</sup>)  
 猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,2♂1♀; 12.VIII.1982,  
 1♂,夏秋ほか<sup>2,2)</sup>)  
 黒田庄町(喜多,16.VI.1960,1ex.,岡本清<sup>4)</sup>)  
 姫路市(広嶺山,22.VI.1996,1♂1♀,高島昭<sup>4)</sup>)  
 波賀町(引原,8.VI.1974,1♀; 22.VI.1974,1♂; 2.VI.  
 1975,1♂1♀,遊磨正秀<sup>1)</sup>; 同,-,VIII.1983,1♂,相  
 坂耕作; 同,25.VIII.1987,1ex.; 26.VI.1988,1♂1♀,  
 高島昭<sup>4)</sup>; 坂の谷,27.V.1998,1♀,高島昭)  
 相生市(瓜生,17.VI.1989,1♀,高島昭<sup>4)</sup>)  
 三日月町(下本郷,-.VI.-,-; -.VI.1984,-; -.VII.  
 1984,-; -.VIII.1985,-,川副昭人<sup>3,3)</sup>)  
 和田山町(久世田,3.VII.1989,1♂,近藤伸一)  
 氷ノ山(-.-.-, -, 遠山ほか<sup>1,3)</sup>)  
 関宮町(氷ノ山,-.-.1955,-,山本義丸<sup>3)</sup>)  
 氷上郡(-.-.-, -, 山本義丸<sup>4)</sup>)

3. *Moma fulvicollis* (Lattin)

## キクビゴマケンモン

北海道と本州から記録があり、前種と近縁である。年1回の発生と思われる。幼虫はクマシデから見ついている。県下では宝塚市、三日月町、波賀町、氷ノ山、村岡町の6カ所から報告があるだけで前種よりはるかに局地的で個体数も少ない。しかし、低山地から山地まで見られ、食樹さえあれば少ないながら各地に生息する可能性は高い。

## [採集記録]

宝塚市(西谷西部,18.VI.1977,1♀,東正雄<sup>3)</sup>)  
 波賀町(引原,2.VII.1988,1♀; 25.VII.1988,1♂1♀,高  
 島昭<sup>4,2)</sup>; 坂の谷,5.VI.1998,1♂,高島昭; 同,10.VII.  
 1998,1♀,高島昭)  
 三日月町(下本郷,-.VI.1984,1♂,川副昭人<sup>3,3)</sup>)  
 村岡町(澗川平,12.VIII.1989,1♀,近藤伸一)  
 氷ノ山(-.-.-, -, 遠山ほか<sup>1,3)</sup>)

4. *Nacna malachitis* (Oberthür)

## ニッコウアオケンモン

北海道では道南部と礼文、奥尻の各島、本州から九州にかけて分布する。西南暖地ではおそらく年2回発生と思われる。幼生期ははっきりわかっていないが、シソ科のニガクサから幼虫が得られたことがあるという。県内での記録は山地に限られ、西播北部から但馬にかけてと市島町妙高山、能勢妙見山に孤立的に得られている。なお、大阪府箕面公園では少ないながら産するようで、北摂地域の山地には連続的に産するかもしれない。

## [採集記録]

妙見山(29.VIII.1983,1♂,夏秋ほか<sup>2,8)</sup>)  
 波賀町(引原,26.IX.1987,1ex.,高島昭<sup>4,2)</sup>; 坂の谷,12.  
 VIII.1998,1♂,高島昭)  
 温泉町(扇ノ山,2.VI.1984,1ex.,谷田昌也<sup>3,1)</sup>)  
 朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂,遊磨正秀<sup>1,8)</sup>)  
 氷ノ山(-.-.-, -, 遠山ほか<sup>1,3)</sup>)  
 関宮町(氷ノ山,-.-.1954,-,山本義丸<sup>2)</sup>)  
 市島町(妙高山,-.-.-, -, 山本義丸<sup>4,3)</sup>)

5. *Nacna sugitanii* (Nagano)

## スギタニアオケンモン

日本特産種で、秋田県以南、九州まで産する。西南暖地では山地に限られ少ない種となる。夏から初秋にかけて発生する。食性はわかっていなかったが、八千代町笠形山でミカエリソウから採集された幼虫から本種の羽化が確認された(岡本,1995)。県内では前種と同じく山地で得られているが、黒田庄町のような低山地の記録もある。

## [採集記録]

妙見山(26.VIII.1983,6♂4♀; 18.VIII.1984,2♂,夏秋ほ  
 か<sup>2,8)</sup>)  
 黒田庄町(喜多,24.IX.1964,1ex.; 10.XI.1967,4exs.,  
 岡本清<sup>4)</sup>)  
 八千代町(笠形山,12.VII.1964(幼),-; 7.IX.1967,

(幼)4exs.,31.VII.1968,(幼)6exs.,岡本清<sup>41)</sup>

波賀町(引原,25.VII.1987,1♂;7.IX.1988,1♀,高島昭<sup>42)</sup>:坂の谷,5.VI.1998,1♂,高島昭:同,26.VI.1998,1♂,高島昭)

朝来町(須留ヶ峰,9.VII.1975,2♂,遊磨正秀<sup>18)</sup>)

関宮町(氷ノ山,-.-.1954,-,山本義丸<sup>2)</sup>)

市島町(妙高山,28.VII.1954,-,山本義丸<sup>4)</sup>)

#### 6. *Harrisimemna marmorata* (Hampson)

スギタニゴマケンモン 注目種

北海道から九州にかけて産し、年2回の発生と思われる。幼生期はよくわかっていない。北アメリカに産する近縁種はイボタヤハシドイを食べるといふ。県内では山地性で産地は局限され、波賀町坂の谷、氷ノ山、扇ノ山、篠ヶ峰の4カ所で報告されているだけである。中央山地を中心に十分な調査が必要である。

[採集記録]

波賀町(坂の谷,26.VI.1998,1♀,高島昭)

温泉町(扇ノ山,11.VIII.1984,1♂1♀;25.VIII.1984,1♂,谷田昌也<sup>31)</sup>)

関宮町(氷ノ山,-.VIII.1954,2exs.,山本義丸<sup>2)</sup>)

氷上町(篠ヶ峰,26.VIII.1952,1♂,山本義丸<sup>4)</sup>)

#### 7. *Gerbathodes angusta* (Butler)

ヒメケンモン

関東地方から四国北部、九州北部の暖温帯落葉樹林に生息する。食樹はクヌギが知られている。

春から出現するが周年経過はよくわかっていない。おそらく2~3回の発生ではないかと思われる。ミツテンケンモンとも呼ばれる。

県下ではやや局地的で、県南部と淡路島の里山的環境で得られている。低地の二次林に優勢な蛾なので実際には広く分布していると思われる。

[採集記録]

川西市(黒川,18.V.1996,1♀;3.V.1997,1♂,高島昭<sup>60)</sup>)

猪名川町(上阿古谷,12.VIII.1982,1♀,夏秋ほか<sup>22)</sup>)

姫路市(広嶺山,22.VI.1996,2♂;6.VII.1996,1♂,高島昭<sup>41)</sup>)

三日月町(下本郷,-.VI.-,-;-.VII.1983,-,川副昭人<sup>33)</sup>)

津名町(大町畑,5.V.1972,1♂,登日邦明<sup>9)</sup>)

#### 8. *Gerbathodes lichenodes* (Graeser)

シロフヒメケンモン

前種と近縁であるが♂では中室付近により明瞭な褐色鱗片を混じ、中室下方の白色影も明瞭。♀でも翅表中央はより黒色を帯びる。食性はよくわかっていないがコナラ属を食べるとされる。北海道と本州に産する。やや局地的とされ中国地方以西では発見されていない。県下では中・西播地域から氷ノ山にかけてと、丹波地域に限られている。前種と同様、低地の二次林に見られるほか山地でも採集されている。発生地での個体数は多い。

[採集記録]

姫路市(広嶺山,6.VII.1996,2♂2♀,高島昭<sup>41)</sup>)

波賀町(引原,26.VI.1988,1♂;2.VII.1988,1♀,高島昭<sup>42)</sup>:坂の谷,26.VI.1998,1♂,高島昭)

相生市(瓜生,7.VI.1989,1♂;17.VI.1989,1♂,高島昭<sup>44)</sup>)

三日月町(下本郷,-.VI.-,-;-.VII.1983,-;-.VIII.1983,-;-.VI.1984,-;-.IX.-,-,川副昭人<sup>33)</sup>)

氷ノ山(-.-.-,山本義丸<sup>6)</sup>)

市島町(妙高山,-.-.-,山本義丸<sup>6)</sup>)

#### 9. *Acronicta major* Bremer

オオケンモン

北海道から九州まで本土域と対馬に普通に産する。年2回の発生で幼虫はカエデ、リンゴ、スモモ、ニセアカシアなど多種の広葉樹につく。

県下では案外局地的な産出で、神戸から中東播にかけては大きな分布空白域となっている。

[採集記録]

西宮市(甲東園,20.V.1970,1♀,東正雄<sup>39)</sup>)

宝塚市(南口2丁目,12.IX.1979,-,新家勝<sup>19)</sup>:光明町,9.IX.1988,-,新家勝<sup>39)</sup>)

妙見山(5.VII.1984,1♂,夏秋ほか<sup>28)</sup>)

波賀町(引原,27.VII.1973,1♂;12.VIII.1974,1♂,遊磨正秀<sup>11)</sup>:同,14.VIII.1979,2♂,相坂耕作:同,12.VIII.1987,1♂1♀;25.VIII.1987,2exs.;16.VII.1988,1♂,高島昭<sup>42)</sup>:坂の谷,31.VII.1998,1♂,高島昭)

三室山(-.-.-,遠山ほか<sup>13)</sup>)

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,1♂,遊磨正秀<sup>20)</sup>)

氷ノ山(-.-.-,遠山ほか<sup>13)</sup>)

関宮町(氷ノ山,-.-.1954,-,山本義丸<sup>2)</sup>)

氷上郡(-.-.-,山本義丸<sup>4)</sup>)



10. *Hyboma adaucta* (Warren)

サクラケンモン

北海道から九州北部まで分布する。年2回の発生と思われる。幼虫はサクラ類につく。県下では低山地を中心に各地で見られる。黒田庄町では普通に得られているようであるが、全般に個体数は少ない種のようなのである。

【採集記録】

宝塚市(南口2丁目,21.V.1979,-,新家勝<sup>19</sup>:野上1,6.V.1976,1♀,東正雄<sup>39</sup>:宝梅1,2.V.1977,1♂,東正雄<sup>39</sup>:光明町,17.IX.1991,1♀,新家勝<sup>39</sup>:西谷西部,5.V.1992,1♂,東正雄<sup>39</sup>)  
 川西市(黒川,3.V.1997,1♂,高島昭<sup>60</sup>)  
 高砂市(-,17.VIII.1966,1ex.岡本清:米田町,4.VI.1977,1ex.,岡本清<sup>45</sup>)  
 黒田庄町(喜多,17.V.1960,1ex.;24.VI.1960,2exs.;13.IX.1960,2exs.;14.IX.1960,1ex.;10.V.1961,2exs.;7.VII.1961,1ex.;21.IX.1961,1ex.;23.VIII.1962,1ex.;23.IX.1962,1ex.岡本清<sup>49</sup>)  
 三日月町(下本郷,-.V.1984,-,川副昭人<sup>33</sup>)  
 豊岡市(山本,27.V.1973,-,山根政之<sup>18</sup>:正法寺,2.VII.1998,1♂,柴田剛:同,12.VII.1998,1♂,柴田剛)  
 氷ノ山(-.-.-,-,遠山ほか<sup>13</sup>)  
 水上郡(-.-.-,-,山本義丸<sup>43</sup>)  
 南淡町(阿万上町,30.IV.1968,-;19.V.1973,-,藤平明<sup>12</sup>)

11. *Plataplecta pulverosa* (Hampson)

シロハラケンモン

前翅翅底に黒褐色条があり、この下側に接して卵形の暗色紋がある。後翅は外縁部が暗色帯となっている。本州、四国、九州、対馬、屋久島に分布し、年2回発生する。幼虫はアキグミから得られている。県下では平地から丘陵地にかけて生息しているが、記録されている地域は少ない。局地的な分布というより調査が充分でないのだろう。県下全域に広く分布するものと思われる。氷ノ山でも記録がある。

【採集記録】

宝塚市(宝梅1,30.VIII.1986,1♂,東正雄<sup>39</sup>)  
 高砂市(-,10.VI.1965,1ex.,岡本清<sup>45</sup>)  
 黒田庄町(喜多,16.V.1960,1ex.;21.V.1960,1ex.;24.V.1960,1ex.;11.VII.1960,1ex.;12.VIII.1960,1ex.;9.IX.1960,1ex.;8.V.1961,1ex.;30.VI.1961,1ex.,岡本清<sup>49</sup>)

姫路市(太市,6.V.1995,1♀,高島昭)

氷ノ山(-.-.-,-,遠山ほか<sup>13</sup>)

柏原町(柏原,-.-.-,-,山本義丸<sup>43</sup>)

南淡町(阿万上町,7.VIII.1962,-,藤平明<sup>12</sup>:同,20.IV.1986,-,藤平明<sup>32</sup>)

12. *Plataplecta aibistigma* (Hampson)

シロモンケンモン

アサケンモンに似ているが外横線の白紋列はR脈間ではほぼ直線状、前翅環状紋は白色長楕円形で中心部の暗色点は大きい。日本特産で静岡県に離れた産地があるほかは近畿以西、四国、九州北部、対馬に産する。年2回の発生である。幼生期は未知である。県下ではやや局地的である。宝塚市の記録は*P. pruinosa* アサケンモンとして報告(新家,1982)されていたもので、「宝塚の昆虫V」(宝塚市教育委員会,1993)にも引用されていたが、本種の誤りであったとのことである(本人私信)。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,27.VIII.1967,-,岡村八郎<sup>34</sup>)  
 宝塚市(武庫川町,22.IX.1987,-,新家勝)  
 猪名川町(上阿古谷,20.VIII.1982,2♂,夏秋ほか<sup>22</sup>)  
 波賀町(引原,22.VI.1974,1♂,遊磨正秀<sup>11</sup>:同,1.IX.1988,1♂1♀;22.IX.1988,1♀,高島昭<sup>42</sup>)  
 三日月町(下本郷,-.VI.-,-;-.VII.1984,-;-.IX.-,-,川副昭人<sup>33</sup>)  
 柏原町(柏原,-.-.-,-,山本義丸<sup>43</sup>)

13. *Triaena subpurpurea* (Matsumura)

ウスムラサキケンモン 注目種

寒地性の種で北海道から本州中部にかけては連続的に分布するが、西南暖地では山地に局地的に産する。個体数は少なく年1回6~7月に出現する。県下では氷ノ山で古い記録が1例あるだけである。近県では岡山県に記録があり、西播から但馬にかけての高地には分布していると思われる。

【採集記録】

関宮町(氷ノ山,-.-.1955,1♂,山本義丸<sup>3</sup>)

14. *Triaena intermedia* Hampson

リンゴケンモン

本土域に分布し平地から山地に生息するが、庭木などにも発生するという。年2回の発生で、幼虫はサクラ、ヤナギ、ハルニレなど多くの落葉広葉樹につく。県下での採集例はそう多くないが、

平地から山地まで各地で見られる。

【採集記録】

神戸市(摩耶山, -.-.-, 田中蕃<sup>7</sup>: 同, -.-.-, 岡村八郎<sup>34</sup>)

宝塚市(南口2丁目, 11.X.1978, -, 新家勝<sup>19</sup>)

妙見山(29.VIII.1983, 1♂, 夏秋ほか<sup>28</sup>)

高砂市(-, 28.IX.1962, 1ex.; 26.VIII.1963, 1ex.; 15.IX.1965, 1ex.; -, IX.1982, 2exs., 岡本清<sup>45</sup>)

黒田庄町(喜多, 18.V.1960, 1ex., 岡本清<sup>49</sup>)

波賀町(引原, 12.VIII.1974, 1♂, 遊磨正秀<sup>11</sup>: 坂の谷, 28.VIII.1998, 1♀, 高島昭)

三日月町(下本郷, -, VIII.1983, -, 川副昭人<sup>33</sup>)

温泉町(扇ノ山, 2.VI.1984, 1♂, 谷田昌也<sup>31</sup>)

津名町(大町畑, 5.V.1972, 1♂, 登日邦明<sup>9</sup>)

南淡町(阿万上町, 11.VI.1961, -; 9.V.1984, -, 藤平明<sup>32</sup>)

15. *Triaena cuspis* (Hübner)

オオホソバケンモン 注目種

北海道、本州に分布するが北方系の種で、西南暖地では山地性の稀種となる。年2回の発生と思われ、幼虫はヤマハンノキから得られている。

県下では宝塚市、波賀町、関宮町で記録がある。氷ノ山を中心とした山地帯には比較的広く分布するのではないと思われるが、宝塚市の記録は低標高地であり注目される。

【採集記録】

宝塚市(西谷西部, 16.VI.1990, 1♂, 東正雄<sup>39</sup>)

波賀町(引原, -, VIII.1983, 1♂, 相坂耕作: 同, 7.VI.

1988, 1♂; 26.VI.1988, 1♂, 高島昭<sup>42</sup>: 坂の谷, 26.

VI.1998, 1♀, 高島昭: 同, 12.VIII.1998, 2♂, 高島昭)

関宮町(氷ノ山, 16.VII.1955, 1♀; 11.VIII.1956, 2♀, 山本義丸<sup>36</sup>)

16. *Triaena leucocuspis* Butler

キハダケンモン

同属の各種に似るが前翅は最も幅広く短い。また前翅の色調も明るく、二重の各横線は顕著である。北海道から本州、四国に産するが、関東以西の本州では局地的で、東海、紀伊半島、兵庫県、香川県に記録がある。兵庫県は分布の西限域になっている。暖地では年2回の発生である。

県下では、宝塚市、猪名川町、黒田庄町、柏原町で採集されており、いずれも丘陵地から低山地の二次林である。県西部、北部と淡路からは今の

ところ記録は見られず、黒田庄町喜多の記録が本州の西限である。

【採集記録】

宝塚市(西谷町, 16.VI.1963, 1♂, 田中蕃<sup>8</sup>: 西谷西部, 14.V.1977, 1♂; 24.VI.1978, 1♂; 17.VI.1989, 1♂; 16.VI.1990, 1♂, 東正雄<sup>39</sup>)

猪名川町(上阿古谷, 28.VIII.1963, 2♂, 若林守男<sup>8</sup>)

黒田庄町(喜多, 15.VI.1960, 1ex.; 17.VI.1960, 1ex.; 1.VII.1960, 1ex.; 12.VI.1961, 1ex.; 12.VII.1962, 1ex., 岡本清<sup>49</sup>)

柏原町(柏原, 18.V.1951, 1♀, 山本義丸<sup>43</sup>)

17. *Jocheaera alni* (Linnaeus)

ハンノケンモン 注目種

ユーラシア種で北海道から本州に産する。北海道には普通であるが、南に行くにつれて山地性となり、西南日本では局地的で少ない種である。ミズナラ、オニグルミなどの温帯林の広葉樹につき、年2回発生するという。県下では、引原ダムと氷ノ山に古い記録があるのみである。中央山地での発見が期待される。

【採集記録】

波賀町(引原, 29.VI.1974, 1♂, 遊磨正秀<sup>11</sup>)

関宮町(氷ノ山, -, 1955, 1♂1♀, 山本義丸<sup>3</sup>)

18. *Hylonycta carbonaria* (Graeser)

ウスズミケンモン 注目種

マダラウスズミケンモンによく似ているが、♂♀とも後翅の地色は白色に近く、前翅の白色鱗片は少ない。関東以西、北九州地方までのクヌギを主とする二次林に見られるが局地的で産出は連続的でない。春に出現する。県内の記録は少なく、神戸市、宝塚市、三日月町で得られているに過ぎないが、宝塚市では市街地の真ん中で得られており注目される。

【採集記録】

神戸市(山田町, 28.VIII.1973, 1♀, 松本健嗣<sup>29</sup>)

宝塚市(武庫川町, 21.V.1988, -, 新家勝<sup>38</sup>)

三日月町(下本郷, -, V.1984, -, 川副昭人<sup>33</sup>)

19. *Hylonycta catocaloida* (Graeser)

キシタケンモン 注目種

前種に近縁であるが、後翅基半部と縁毛は鮮やかな黄色で一見して区別できる。ミズナラ林を中心に冷温帯を主たる生息域とし、北海道から九州

まで分布するが、四国や九州では高地帯に限られる。食樹はミズナラが知られている。年1回、夏の発生である。

県下の採集例は少なく、大阪との府県境にある能勢妙見山を含めてもわずかに3例があるに過ぎない。このうち姫路市広嶺山の記録は、周辺にミズナラのある山地帯からは遠く離れており、それ以外に食樹があるものと思われる。

[採集記録]

妙見山(5.VII.1984,1♂,夏秋ほか<sup>28)</sup>)

姫路市(広嶺山,6.VII.1996,1♂,高島昭<sup>47)</sup>)

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,1♂,遊磨正秀<sup>20)</sup>)

20. *Hylonycta hercules* (Ferder & Rogenhofer)

シロシタケンモン

日本産ケンモンヤガのうちでも最大種の一つ。北海道から九州にかけての本土域と対馬に分布し、年2回の発生で、ハルニレ、ケヤキなどニレ科植物をたべる。県下では採集記録はあまり多くないが、平坦地から山地にまで及んでおり、普遍的に分布するものと思われる。

[採集記録]

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂,夏秋ほか<sup>22)</sup>)

波賀町(引原,29.VI.1974,1♂; 2.VI.1975,1♂,遊磨正秀<sup>11)</sup>: 同,5.IX.1987,1ex.; 9.VII.1988,1♀,高島昭<sup>42)</sup>)

三日月町(下本郷,-.VI.-,-; -.VI.1984,-,川副昭人<sup>33)</sup>)

豊岡市(山本,18.VI.1973,-,山根政之<sup>16)</sup>)

水ノ山(-.-.-,-,遠山ほか<sup>13)</sup>)

南淡町(阿万上町,28.V.1973,-,藤平明<sup>12)</sup>: 同,1.VII.1973,-,藤平明<sup>32)</sup>)

21. *Viminia rumicis* (Linnaeus)

ナシケンモン

前翅の斑紋には多少の変異がある。本種はユーラシアの広域分布種で、日本では本土域と対馬、屋久島に普遍的に分布する。年2回以上の発生で食性は広く各種の灌木や草本につく。県内でも各地で採集され、個体数も多い。最も普通のケンモンである。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-.-.-,-,田中蕃<sup>7)</sup>)

宝塚市(南口2丁目,21.VI.1979,-,新家勝<sup>19)</sup>: 武庫川町,3.VII.1989,-,新家勝<sup>38)</sup>: 光明町,8.VIII.1988,-,

新家勝<sup>39)</sup>: 西谷西部,22.VIII.1987,1♀,東正雄<sup>39)</sup>: 武田尾,26.VI.1992,1♂1♀,東たか<sup>39)</sup>)

川西市(平野,14.VII.1992,1♀,東良雄<sup>39)</sup>: 黒川,13.VII.1996,5♂; 3.V.1997,3♂; 5.VII.1997,1♀,高島昭<sup>50)</sup>)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♀; 1.IX.1982,1♂,夏秋ほか<sup>22)</sup>)

黒田庄町(喜多,27.III.1959,1ex.; 9.IV.1959,1ex.; 4.V.1959,1ex.; 15.VI.1959,1ex.; 25.VI.1959,1ex.; 28.IX.1959,1ex.; 13.IV.1960,1ex.; 19.IV.1960,1ex.,岡本清<sup>49)</sup>)

姫路市(太市,-.-.1991,-,丸谷ほか<sup>27)</sup>)

波賀町(引原,8.VI.1974,1♂; 22.VI.1974,1♀,遊磨正秀<sup>11)</sup>: 同,7.VI.1988,1♂; 18.VI.1988,1♂; 26.VI.1988,1♂; 17.VI.1988,1♂; 8.VII.1988,1♀,高島昭<sup>42)</sup>: 同,24.IV.1998,1♂,高島昭<sup>42)</sup>)

相生市(瓜生,30.VI.1989,1♂,高島昭<sup>44)</sup>)

上郡町(船坂,4.X.1997,1♂,高島昭<sup>44)</sup>)

三日月町(下本郷,-.IV.-,-; -.VI.-,-; -.VII.1983,-; -.IX.1984,-,川副昭人<sup>33)</sup>)

温泉町(扇ノ山,-.-.-,-,遠山ほか<sup>13)</sup>)

水ノ山(-.-.-,-,遠山ほか<sup>13)</sup>)

水上郡(-.-.-.-,-,山本義丸<sup>4)</sup>)

北淡町(常陸寺山,5.VIII.1972,1♂,登日邦明<sup>10)</sup>)

津名町(大町畑,3.IV.1972,1♂; 5.IV.1972,1♀; 5.V.1972,1♂,登日邦明<sup>9)</sup>: 同,29.IV.1972,1♀,登日英樹<sup>9)</sup>: 同,8.VII.1972,1♂,登日邦明<sup>10)</sup>)

洲本市(中津川,7.IV.1972,1♂,登日邦明<sup>9)</sup>)

南淡町(阿万上町,25.IV.1958,-; 11.X.1959,-,藤平明<sup>32)</sup>: 同,14.VIII.1972,1♂,登日邦明<sup>10)</sup>: 阿万,-.IV.-,-; -.VI.-,-; -.X.-,-,藤平明<sup>12)</sup>)

22. *Viminia digna* (Butler)

クビグロケンモン 注目種

本州中部から九州にかけて分布するが、産出は極めて局地的である。年2回の発生と思われ、カキツバタ、イタドリが食草として記録されている。

県下では、これまで神戸市と淡路(津名町、洲本市)で得られており、淡路の記録は大図鑑でも紹介されている。四国には記録があるようだが、本州側では近県の記録を知らない。低地草原(湿原?)に固有な種であるとするれば生息環境の保護が必要である。県南部の溜池周辺に残る草原での発見が期待される。

[採集記録]

神戸市(伊川谷,20.VIII.1975,1♀,松本健嗣<sup>24</sup>)  
 津名町(大町畑,3.V.1972,1♂; 5.V.1972,1♂,登日邦明<sup>9</sup>)  
 洲本市(宇山,12.IV.1981,1ex.; 1.V.1981,1ex.; 14.IX.1981,1ex.,林俊雅<sup>23</sup>)

### 23. *Craniphora lingstri* Schiffermüller

#### イボタケンモン 注目種

北海道から九州にかけて分布し、幼虫はイボタから発見されている。大図鑑では7~9月の出現とあるが、5月の採集例も多く県下では年2回以上の発生となる。

県下では局地的な少ない種で、西播北部から氷ノ山にかけて記録がある。中央山地一帯に分布すると思われる。

#### [採集記録]

波賀町(引原,22.V.1976,1♂,遊磨正秀<sup>17</sup>; 同,7.IX.1988,1♂,高島昭<sup>12</sup>; 坂の谷,28.IV.1998,1♂,高島昭; 同,15.V.1998,1♂1♀,高島昭; 同,12.VIII.1998,2♂,高島昭)  
 関宮町(氷ノ山,-.-.1954,-,山本義丸<sup>2</sup>)

### 24. *Craniphora praelara* Hampson

#### ニッコウケンモン

前種に近縁であるが、一般に大きく前翅基部後縁部に黄緑色の鱗片を有することで区別できる。冷温帯性の蛾で北海道から九州にかけて産するが西南暖地では山地性となる。幼生期は不明である。

県下では川西市、波賀町、氷ノ山などで得られている。大阪府箕面でも記録があり、県南東部の山地では広く分布している可能性がある。

#### [採集記録]

川西市(黒川,7.VI.1997,1♂,高島昭<sup>50</sup>)  
 波賀町(引原,22.VI.1974,1♂,遊磨正秀<sup>11</sup>; 同,-.VII.1983,2♂,相坂耕作; 同,25.VII.1988,1♂; 1.IX.1988,1♀,高島昭<sup>12</sup>; 坂の谷,5.VI.1998,1♂,高島昭)  
 氷ノ山(-.-.-,遠山ほか<sup>13</sup>)  
 関宮町(氷ノ山,-.-.1954,-,山本義丸<sup>2</sup>)

### 25. *Craniphora fasciata* (Moore)

#### シマケンモン

熱帯アジアに分布の中心を持つ南方系の種で、関東南部を北限とし、東海・近畿以西に広く分布する。年数回の発生と思われる。ネズミモチやヒ

イラギが食樹として知られている。県下では南部から淡路にかけての平地から低山地に広く分布している普通種である。但馬地域からの発見が期待される。

#### [採集記録]

神戸市(摩耶山,-.-.-,岡村八郎<sup>34</sup>)  
 西宮市(香炉園,20.V.1950,1♂,東正雄<sup>39</sup>)  
 宝塚市(南口2丁目,19.V.1989,-,新家勝<sup>38</sup>; 光明町,31.VIII.1988,-; 22.VI.1990,-,新家勝<sup>39</sup>; 西谷西部,14.V.1977,1♂,東正雄<sup>39</sup>; 武田尾,15.VII.1991,1♂,東正雄<sup>39</sup>)  
 高砂市(-,16.VI.1965,1ex.,岡本清<sup>45</sup>)  
 西脇市(-,1.V.1959,1ex.,猪股涼一)  
 相生市(瓜生,7.VI.1989,1♂,高島昭<sup>44</sup>)  
 三日月町(下本郷,-.VIII.1983,-; -.VI.1984,-,川副昭人<sup>33</sup>)  
 氷上郡(-.-.-.-,山本義丸<sup>4</sup>)  
 津名町(大町畑,5.V.1972,2♂,登日邦明<sup>9</sup>; 同,1.VII.1972,1♂,登日邦明<sup>10</sup>)  
 洲本市(中津川,3.VII.1972,1♂,登日邦明<sup>10</sup>; 物部,2.V.1981,1ex.,林俊雅<sup>23</sup>)  
 南淡町(阿万上町,10.VI.1962,-,藤平明<sup>12</sup>; 同,2.V.1986,-,藤平明<sup>32</sup>)

### 26. *Craniophora oda* (Lattin)

#### ネジロシマケンモン 注目種

斑紋のパターンは同属の各種に似るが、基部から内横線に至るまで一様に灰白色で、一見して区別できる。採集例は極めて少なく、これまで広島県豊平町、新潟県朝日村と氷ノ山(大屋町横行)で得られているだけである。兵庫県版レッドデータブックにはその名があがっていないが、Aクラスの稀種である。7月に得られている。幼生期は不明である。国外では朝鮮、沿海州に分布する。深い山地で局地的に発生している可能性が高く、再発見が期待される。

#### [採集記録]

大屋町(横行,23.VII.1957,1♂1♀,山本義丸<sup>9</sup>)

### 27. *Craniophora jankowskii* (Oberthür)

#### クロフケンモン

前翅の斑紋には地理的変異がある。北海道から九州にかけてと対馬に分布し、年2回の発生と思われる。トネリコを食樹としている。

県下での記録は少なく、山地帯に限られている。

中央山地一帯に広く分布していると思われる。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,-.-.-,田中蕃<sup>7</sup>)  
 妙見山(26.VIII.1983,2♂2♀,夏秋ほか<sup>28</sup>)  
 加美町(三国岳,17.VIII.1960,1ex.,猪股涼一)  
 波賀町(引原,18.VII.1973,1♂; 8.VI.1974,1♂; 13.VII.1974,1♂,遊磨正秀<sup>11</sup>; 坂の谷,28.VIII.1998,1♂,高島昭)  
 水ノ山(-.-.-,山本義丸<sup>6</sup>; 同,-.-.-,遠山ほか<sup>13</sup>)

28. *Narcotina niveosparsa* (Matsumura)

シロフクロケンモン

北海道から九州にかけてと対馬に分布するが全般的に少ない種である。夏に発生するが幼生期は不明である。本種は分類上の位置が微妙で、幼虫の発見が期待されている。県下では西播から但馬・丹波にかけての地域と能勢妙見山に孤立した分布を示す。大阪府箕面にも記録があるので、北摂から六甲地域にかけても発見されるだろう。発生地での個体数は少ないものではないとの報告(川副,1987)もある。

【採集記録】

妙見山(7.VII.1984,1♂3♀,夏秋ほか<sup>28</sup>)  
 波賀町(引原,25.VII.1988,1♂,高島昭<sup>42</sup>)  
 相生市(瓜生,30.VI.1989,1♂,高島昭<sup>44</sup>)  
 三日月町(下本郷,-.VI.-,-; -.VI.1984,-,川副昭人<sup>33</sup>)  
 大屋町(田淵山,5.VIII.1975,2♂,遊磨正秀<sup>20</sup>)  
 水ノ山(-.-.-,山本義丸<sup>6</sup>)  
 関宮町(鉢伏高原,24.VII.1974,1♀; 23.VII.1975,1♀,山本義丸<sup>48</sup>)  
 市島町(妙高山,28.VIII.1954,-,山本義丸<sup>4</sup>)

29. *Lophonycta confusa* (Leech)

アミメケンモン

分類上の位置が不確定な種で、かつてコヤガ亜科やキノコヨトウ亜科に含められていた。したがって、アミメコヤガ、アミメキノコヨトウという別称がある。本州から九州に産する。幼生期は不明である。県下では低山地から山地にかけて広く分布し、各地で普通に見られる。

【採集記録】

神戸市(六甲山,-.-.1933,-,堀江聡男<sup>1</sup>; 摩耶山,-.-.-,田中蕃<sup>7</sup>; 同,2.VI.1968,-; 25.VIII.1985,-,

岡村八郎<sup>34</sup>)

宝塚市(西谷西部,25.VI.1977,2♂; 6.VIII.1977,1♂; 27.V.1978,1♂; 22.VI.1985,1♂; 13.VI.1987,1♂; 1.VIII.1987,2♂1♀; 8.VIII.1987,1♀; 2.VII.1988,1♂; 6.VIII.1988,1♂; 20.VIII.1988,2♂; 15.VI.1990,2♂; 8.VI.1991,1♂,東正雄<sup>39</sup>)  
 川西市(黒川,13.VII.1996,1♂; 7.VI.1997,1♂,高島昭<sup>60</sup>)  
 猪名川町(上阿古谷,25.VII.1981,3♂; 12.VIII.1982,5♂; 20.VIII.1982,3♂1♀,夏秋ほか<sup>22</sup>)  
 黒田庄町(喜多,27.V.1959,2exs.; 11.VI.1959,1ex.; 2.VI.1960,1ex.,岡本清<sup>49</sup>)  
 姫路市(広嶺山,-.-.1982,-,木村三郎<sup>27</sup>; 同,6.VII.1996,1♀,高島昭<sup>47</sup>; 太市,28.VI.1995,1♂,高島昭)  
 波賀町(原,28.VII.1996,1ex.,高島昭; 引原,4.VII.1973,1♂; 18.VII.1973,1♂; 27.VII.1973,1♂; 22.VI.1974,1♂; 29.VI.1974,1♂,遊磨正秀<sup>11</sup>; 同,2.VII.1988,1♂; 16.VII.1988,1♀,高島昭<sup>42</sup>)  
 三室山(-.-.-,遠山ほか<sup>13</sup>)  
 相生市(瓜生,7.VI.1989,1♂; 30.VI.1989,1♂,高島昭<sup>44</sup>)  
 上郡町(行頭,23.VI.1995,1♂1♀,高島昭<sup>46</sup>)  
 三日月町(下本郷,-.VII.1983,-; -.VIII.1983,-; -.VI.-,-,川副昭人<sup>33</sup>)  
 豊岡市(山本,27.V.1973,-,山根政之<sup>15</sup>; 正法寺,2.VIII.1998,1♂,柴田剛)  
 朝来町(須留ヶ峰,9.VII.1975,1♂,遊磨正秀<sup>18</sup>)  
 水ノ山(-.-.-,遠山ほか<sup>13</sup>)  
 関宮町(水ノ山,-.-.1955,-,山本義丸<sup>4</sup>)  
 水上郡(-.-.-,山本義丸<sup>4</sup>)  
 洲本市(中津川,11.VIII.1972,2♂,登日邦明<sup>14</sup>)  
 南淡町(阿万上町,4.VI.1984,-; 29.VI.1987,-,藤平明<sup>32</sup>)

<今後発見される可能性がある種>

1. *Cymatophoropsis unca* (Houlbert)

ホソバミツモンケンモン

岡山県(高梁市、新見市、備中町ほか)、広島県、高知県、宮崎県、徳島県で記録があるがいずれの地でも極めて局地的で個体数も少ないAクラスの注目種。幼生期は未知であるがおそらくクロウメモドキを食べているのではないかと推測される。

岡山県では、県西部の石灰岩地帯の深い溪谷地帯が生息域となっている。兵庫県でもクロウメドキが多い溪谷地帯を丹念に探せば見つかるのではないかと思っている。

## 2. *Plataplecta pruinosa* (Guenée)

### アサケンモン

翅表の斑紋に個体変異が大きい。外横線は白色波状で幅広いという点で他の種と区別できる。

シロモンケンモンより暖地性で関東以西から琉球列島にかけてと対馬、伊豆諸島に分布する。年2回の発生でグミ属を食樹とする関係で、明るい低山地や林縁部、草原地帯が主な生息域と思われる。県下では宝塚市での記録が1例(新家,1982)あったが、シロモンケンモンとの誤認によるものであることがわかった。

## 3. *Triaena isocuspis* (Sugi)

### ゴマシオケンモン

東北地方から中部地方にかけての山地に普通に産し、四国剣山でも高地に少なくないという。岡山県からも記録がある。幼生期は不明。生息域はブナーミズナラ帯に一致する。年2回の発生である。兵庫県でも氷ノ山を中心とした西播から但馬にかけての高地帯に生息している可能性が高い。

## 4. *Hylonycta subornata* (Leech)

### マダラウスズミケンモン

ウスズミケンモンによく似ているが、翅表の白色鱗片を混じる度合いは強く、後翅は灰黄色。日本特産種でクヌギを食することが知られているが採集例は少ない。関東地方から近畿地方にかけての丘陵地で春に得られるというが、産地はかなり局地的である。周年経過等は不明である。大図鑑によると兵庫県に産するとあるが、山本義丸氏によると大阪府池田市産のものが誤って兵庫県産として記載されたのではないかとのことである。筆者の手許にある文献では兵庫県産のデータを確かできなかったため、未確認種として扱った。大阪府箕面公園や池田市でも採集されているとのことで、兵庫県からも見つかるだろう。

## 5. *Craniophora harmandi* (Poujade)

### タカオケンモン

イボタケンモン、ニッコウケンモンとよく似て

いるが前者とは外横線内側の白色部の形状で、後者とは前翅基部内縁に黄緑色鱗片を持たないことで区別できる。東京都高尾山、紀伊半島、四国、対馬で発見されており、常緑広葉樹を主体とした暖温帯林に優勢な種との印象を受ける。北摂地域から六甲山系、淡路での発見が期待される。

## 6. *Craniophora pacifica* Filipjev

### クシロツマジロケンモン

北海道には広く分布するが、それ以外では岡山県備中町に記録があるだけで孤立した産地となっている。本県においても氷ノ山を中心とした深い山地で発見される可能性がある。

## 7. *Thalatha japonica* Sugi

### ウスイロケンモン

日本特産種で、東京都高尾山付近を北限として東海地方から紀伊半島、四国、九州北部、対馬、八丈島から得られている。年2回の出現で幼生期は不明である。県南部の常緑広葉樹林の残る山地から海岸地帯で発見される可能性がある。

### <参考・引用文献>

- 1) 戸沢信義(1935) 六甲山産蛾類目録 関西昆虫雑誌 2(3):30-31.
- 2) 山本義丸(1955) 氷ノ山の蛾について(第一報) 兵庫生物 3(1/2):3-6.
- 3) 山本義丸(1956) 氷ノ山の蛾について(第二報) 兵庫生物 3(3):121-123.
- 4) 山本義丸(1958) 兵庫県氷上郡昆虫目録:12-50.
- 5) 山本義丸(1958) 氷ノ山の蛾について(第三報) 兵庫生物 3(4):237-239.
- 6) 山本義丸(1959) 氷ノ山の蛾類について(補遺) 兵庫生物 3(5):383-384.
- 7) 田中 蕃(1967) 神戸市摩耶山に産する大蛾類 佳香蝶 19(71):89-104.
- 8) 田中 蕃(1967) キハダケンモンの採集記録 佳香蝶 19(69):39.
- 9) 登日邦明(1973) 淡路島産蛾類分布資料(I) 蛾類通信 73:215-224.
- 10) 登日邦明(1973) 淡路島若干の蛾の記録 PARNASSIUS 9:9-16.
- 11) 遊磨正秀(1978) 引原ダム(宍粟郡波賀町)のヤガ類(I) きべりはむし 6(1/2):16-19.
- 12) 藤平 明(1974) 南淡の蛾(II)

- PARNASSIUS 12:5-13.
- 13) 奥谷禎一(1974) 中国山脈東端の昆虫相  
東中国山地自然環境調査報告 173-191.
- 14) 登日邦明(1974) 淡路島産蛾類分布資料(Ⅱ)  
蛾類通信 76:261-266.
- 15) 高橋 匡(1975) 豊岡高等学校昆虫標本目録  
(第1・2報):48-54.
- 16) 高橋 匡(1975) 豊岡高等学校昆虫標本目録  
(第3報):9-14.
- 17) 遊磨正秀(1979) 宍粟郡波賀町引原ダムの蛾類  
について(Ⅱ) きべりはむし 7(2):2-16.
- 18) 遊磨正秀(1980) 朝来郡朝来町須留ヶ峰の蛾類  
について(Ⅰ) きべりはむし 8(1):1-8.
- 19) 新家 勝(1981) 宝塚大橋の照明灯で採集した  
蛾(その2) きべりはむし 9(2):17-20.
- 20) 遊磨正秀(1981) 養父郡大屋町田淵山の蛾類に  
ついて(Ⅰ) きべりはむし 9(1):3-6.
- 21) 井上 寛ほか(1982) 日本産蛾類大図鑑 Vol.1:  
1-968, Vol.2,1-556, pls.1-392. 講談社・東京
- 22) 夏秋 優・佐々木 昇(1982) 能勢地方の蛾(Ⅰ)  
上阿古谷・夏の蛾 Crude 23:1-37.
- 23) 林 俊雄(1983) 淡路島産蛾類採集記録(Ⅰ)  
PARNASSIUS 28:13-16.
- 24) 松本健嗣(1983) 神戸・明石近海地域の主な蛾  
(その1) きべりはむし 11(1):3-6.
- 25) 西岡公明(1983) 三熊山蛾類採集記録[Ⅰ]  
PARNASSIUS 27:7-9.
- 26) 新家 勝(1983) 宝塚大橋の照明灯で採集した  
蛾(統報その2) きべりはむし 11(1):6-10.
- 27) 木村三郎(1984) 広峰・増位山系の昆虫  
てんとうむし 9:53-58.
- 28) 夏秋 優・佐々木 昇(1984) 能勢地方の蛾(Ⅲ)  
妙見山・夏の蛾(1) Crude 25:15-22.
- 29) 松本健嗣(1985) 神戸市山田町の蛾(統報Ⅲ)  
きべりはむし 13(1):18-19.
- 30) 新家 勝(1986) 宝塚大橋の照明灯で採集した  
蛾(統報その5) きべりはむし 14(1):21-22.
- 31) 谷田昌也(1986) 扇ノ山の蛾類分布資料(1)  
IRATSUME 10:30-37.
- 32) 藤平 明(1987) 南淡の蛾(自刊)
- 33) 川副昭人(1987) 佐用郡三日月町の蛾覚え番  
てんとうむし 10:1-10.
- 34) 岡村八郎(1987) 神戸市摩耶山の蛾類採集目録  
てんとうむし 10:37-45.
- 35) 新家 勝(1988) 宝塚大橋の照明灯で採集した  
蛾(統報その8) きべりはむし 16(1):13-15.
- 36) 山本義丸(1989) 氷ノ山の蛾類について(後報)  
兵庫生物 9(5):295-297.
- 37) 日本野鳥の会(1992) 姫路市自然観察の森林内  
基礎調査報告書 4-6昆虫類 p.119-151.
- 38) 新家 勝(1993) 宝塚大橋の照明灯で採集した  
蛾(統報その10) きべりはむし 21(2):53-64.
- 39) 宝塚市教育委員会(1993) 宝塚の昆虫Ⅴ  
蛾類(Ⅱ)
- 40) 藤富正昭(1994) 私版 淡路の昆虫リスト  
PARNASSIUS 41:1-4.
- 41) 岡本 清(1995) ミカエリソウからスギタニア  
オケンモンの幼虫を採集 遊蟲千年:25.
- 42) 高島 昭(1995) 波賀町引原ダム周辺における  
蛾相第1報 きべりはむし 23(1):6-16.
- 43) 山本義丸(1996) 兵庫県氷上郡地方の蛾類(1)  
きべりはむし24(2):1-13.
- 44) 高島 昭(1996) 相生市三濃山麓の蛾(1)  
きべりはむし 24(1):27-39.
- 45) 岡本 清(1997) 高砂の蛾 てんとうむし  
11:40-45.
- 46) 高島 昭(1997) 上郡町で採集した蛾(1)  
きべりはむし 25(1):31-39.
- 47) 高島 昭(1997) 姫路市広嶺山の蛾(1)  
てんとうむし 11:65-69.
- 48) 山本義丸(1997) 兵庫県で採集した蛾の記録  
きべりはむし 25(2):54-57.
- 49) 岡本 清(1998) 黒田庄町で採集した蛾(1)  
てんとうむし 12:30-38.
- 50) 高島 昭(1998) 黒川の蛾 きべりはむし  
26(1):23-38.
- (TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)